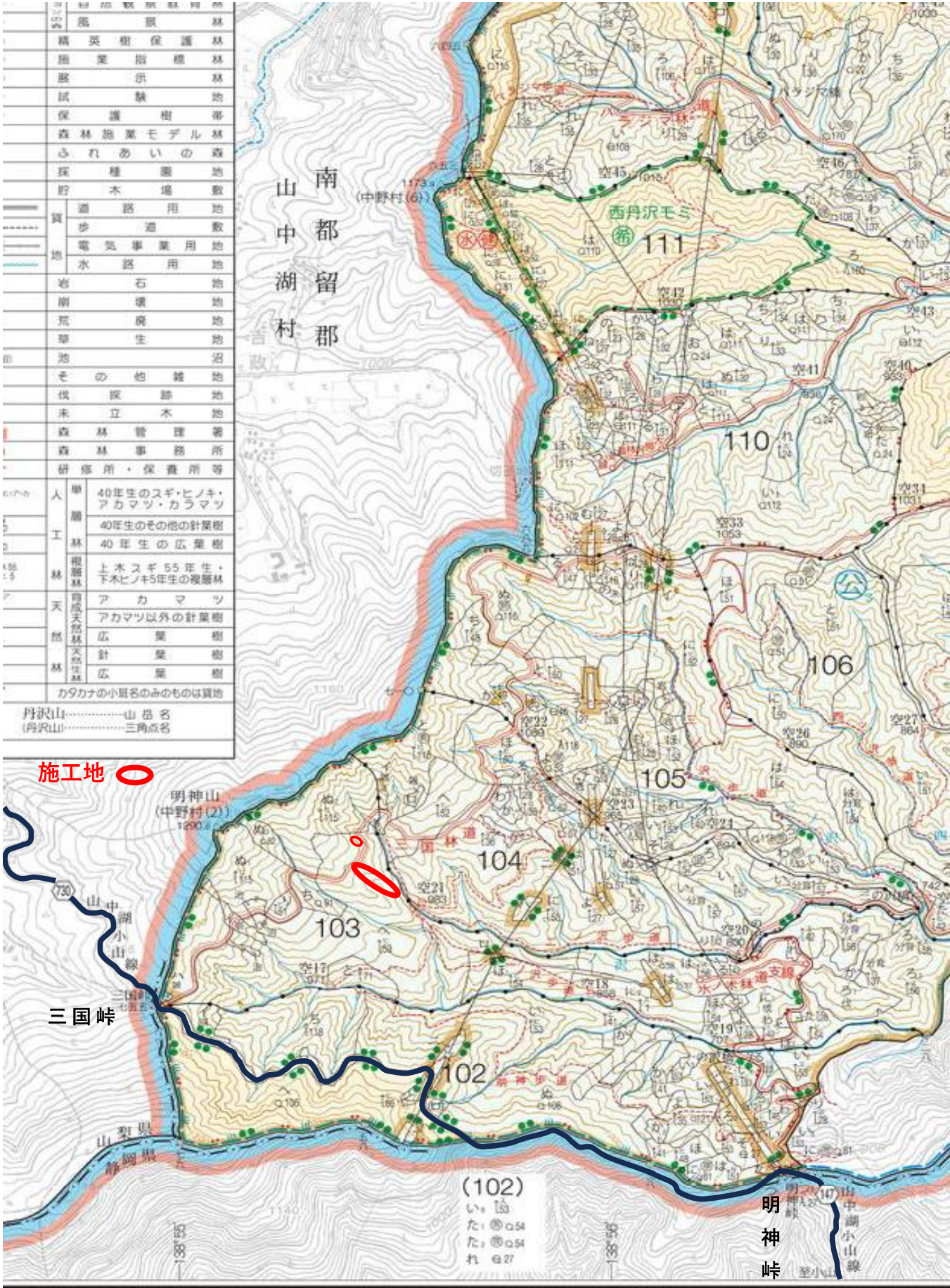
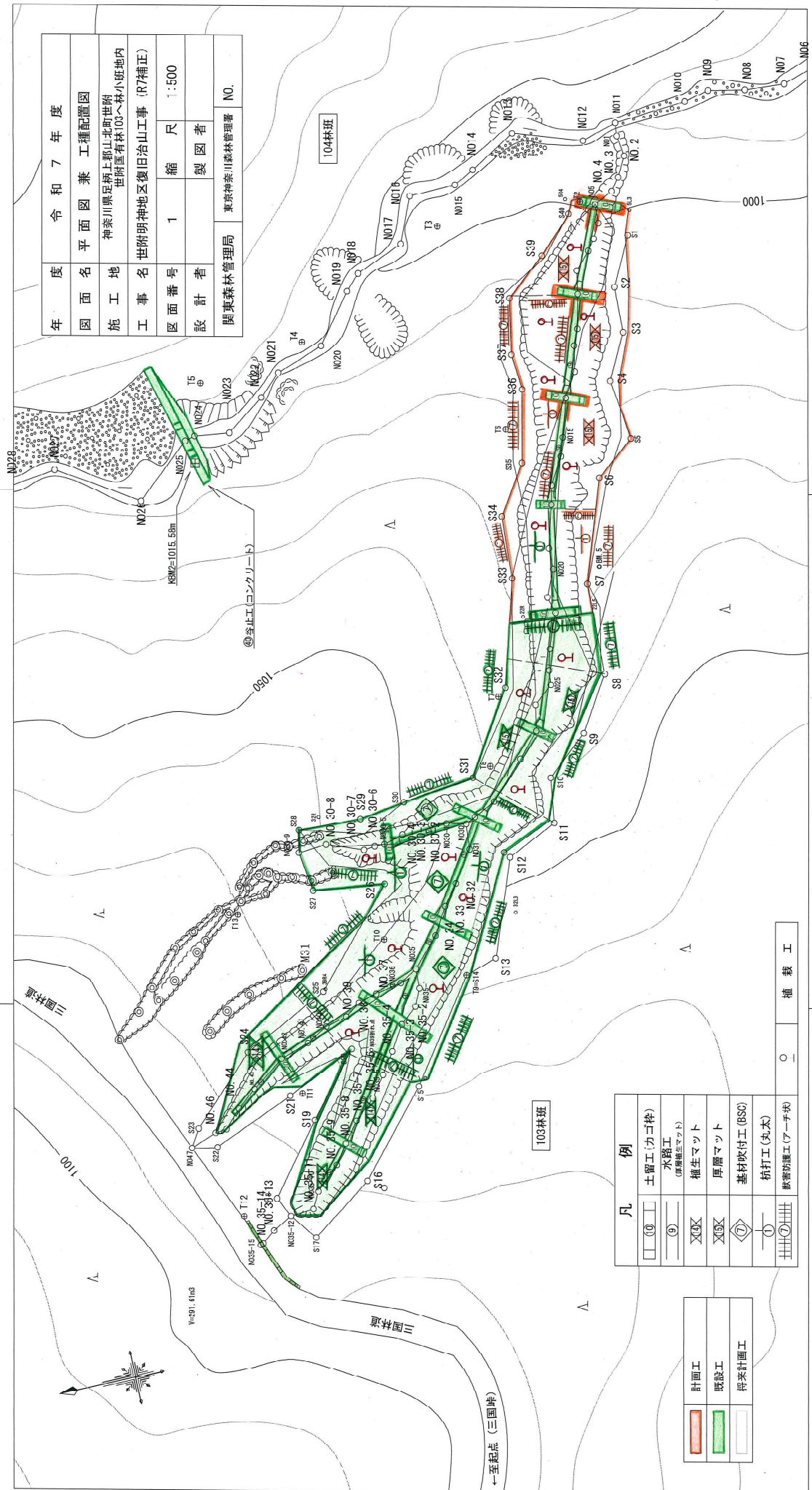
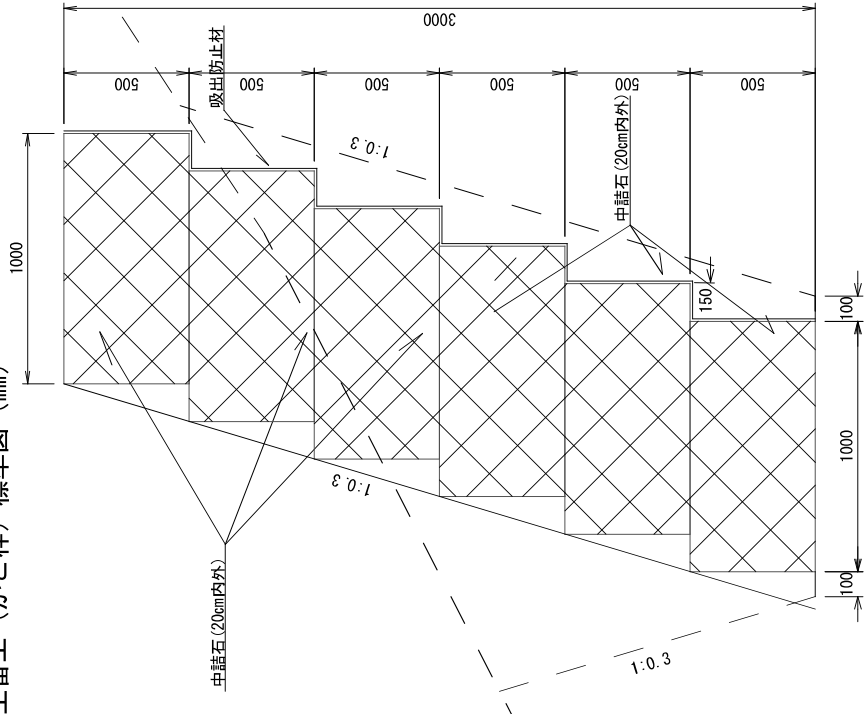


位置図

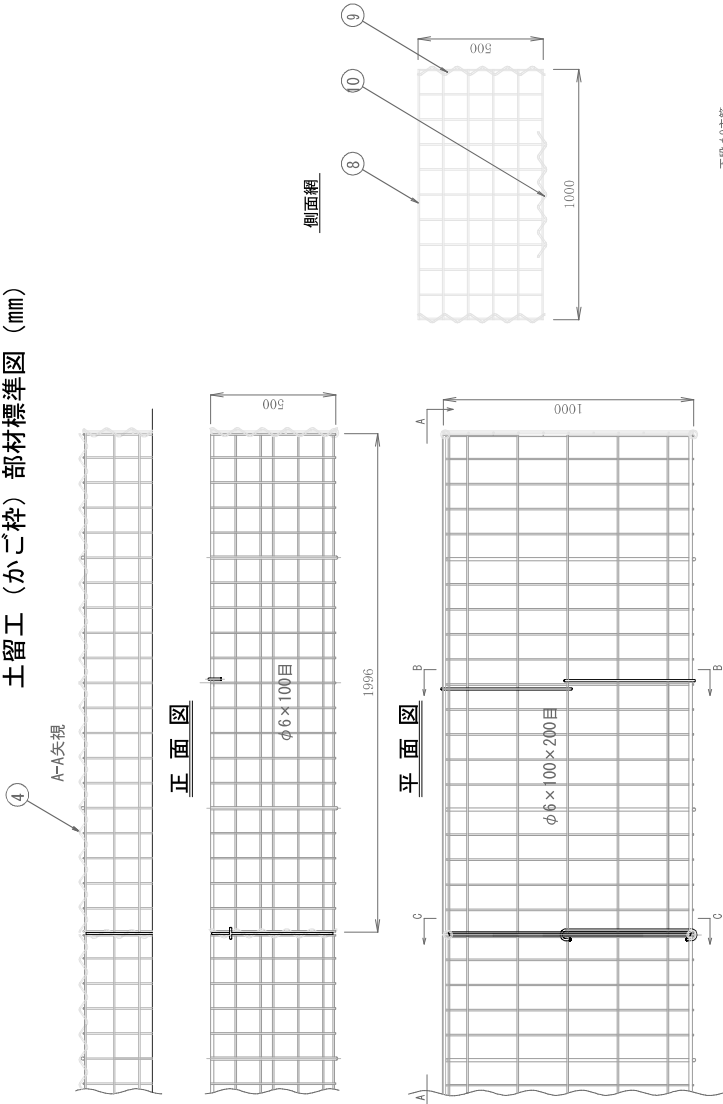




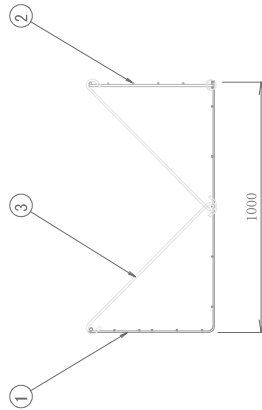
土留工（かご枠）標準図（mm）



土留工（かご枠）部材標準図（mm）



断面図



B-B矢視断面

C-C矢視断面

土留工（かご枠） 10m当り数量表			
種 別	規格・寸法	数量	備 考
かご枠	2.00×1.00×0.50	10.00	m
側面網	1.00×0.05	5.80	枚
中詰め材	20cm内外	4.75	m3
吸出防止材	t=10mm	12.22	m2
床 掘		2.60	m3

本体：φ6 亜鉛めっき処理溶接金網（亜鉛付着量550g/m²以上）又は、亜鉛アルミ合金めっき溶接金網
側面網：上蓋※：φ6 亜鉛めっき処理溶接金網（亜鉛付着量550g/m²以上）又は、亜鉛アルミ合金めっき溶接金網
ステー：φ9 亜鉛めっき処理鋼材又は、亜鉛アルミ合金めっき鋼材
主鉄筋：φ13、φ9 亜鉛めっき処理鋼材又は、亜鉛めっき鋼材
コイル：φ5 亜鉛アルミ合金めっき鋼材
※上蓋はオプション品

部番	名 称	2 (1ヶ/m)				個数
		Uボルト (M12×35×75)	接続コイル	接続コイル	側面網 (100型, L=2000)	
11	Uボルト (M12×35×75)	0	1	2		
10	接続コイル	0	1	2		
9	接続コイル	0	2	4		
8	側面網 (W=1000)	0	1	2		
7	接続コイル				2	
6	接続ステー (側面用ステー)				1	
5	E6ボックス中枠 (100)				1	
4	本体連結コイル				2	
3	正背面ステー				2	
2	背面網 (L=2000)				1	
1	正・底面網 (100型, L=2000)				1	

図面名

標準図（かご枠工）

図面番号

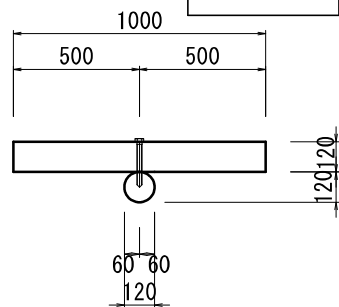
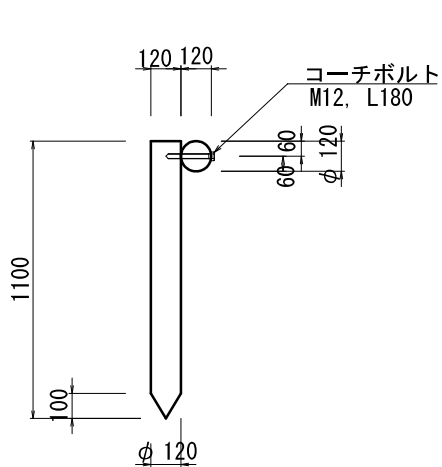
2

縮尺

1:20

木杭根系工法 標準図 (杭打T型1.00-φ120)

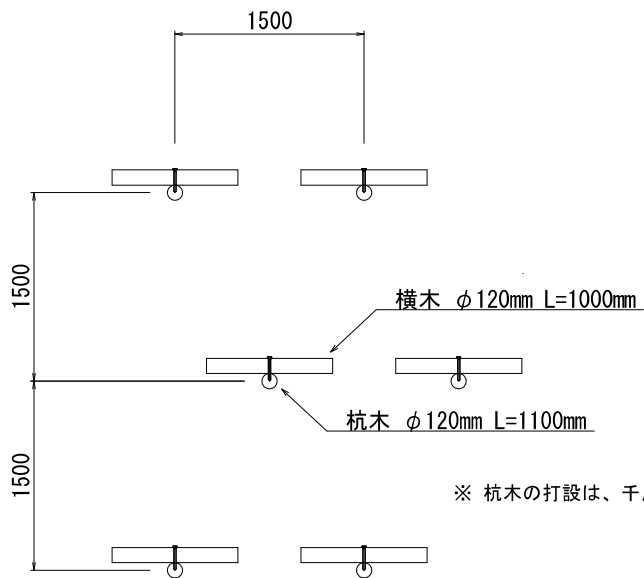
木材の保存処理仕様	
注入前処理	深浸潤特殊・圧縮処理加工
加圧注入処理	JIS A 9002による
保存処理薬剤	マイトレックACQ (JIS K 1570, ACQ-1)
品質規格	吸収量5.2kg/m3以上 浸潤長平均12mm以上 (JAS K4 相当)



材 料 表

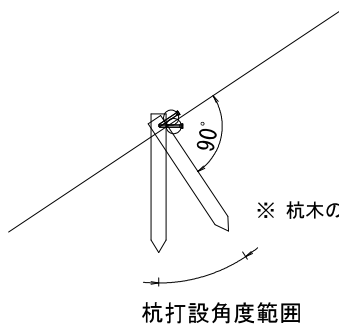
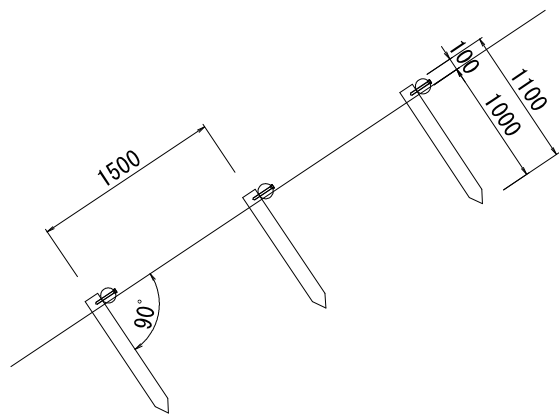
		1組当たり		
名 称	規 格 等	単位	数量	備 考
T 型 杭	φ120mm L=1.1+1.0=2.1m	本	1	杭木 L1.1m 先端仕拵 横木 L1.0m 穴有
コーチボルト	M12 L180	本	1	

展開図



※ 杭木の打設は、千鳥配置とする。

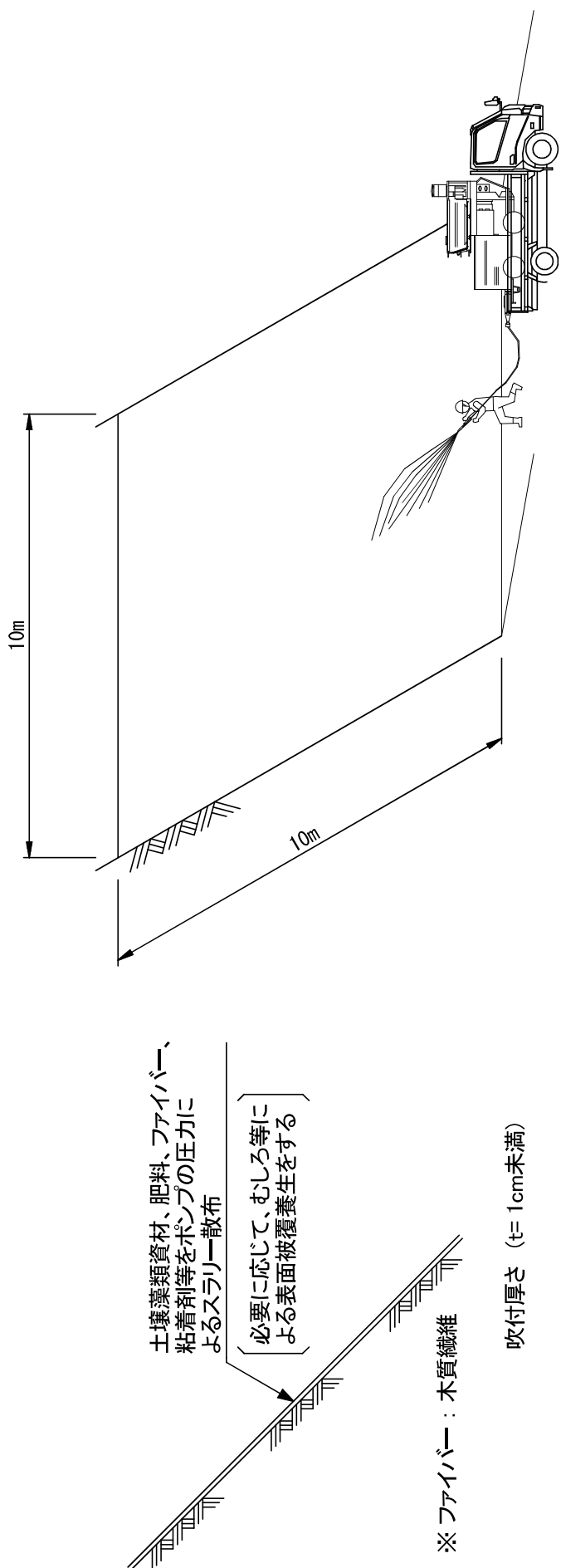
断面図



※ 杭木の打設は、斜面に直角から鉛直方向の間とする。

杭打設角度範囲

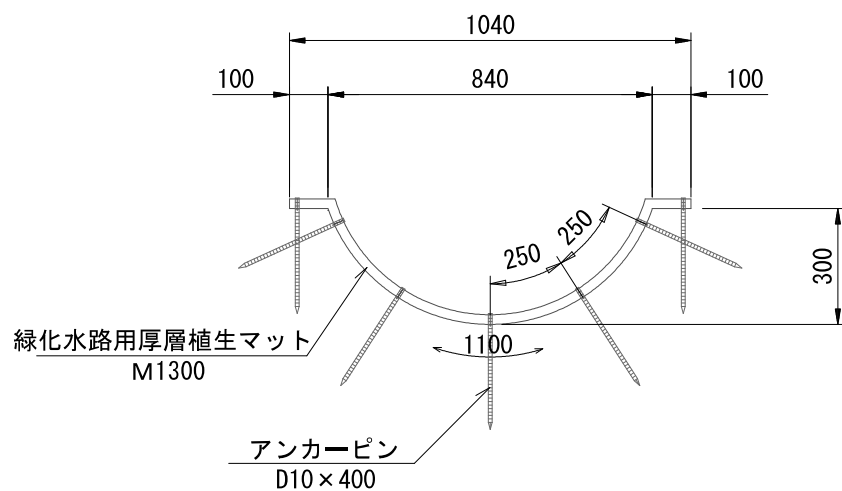
植生基材（土壌藻類）吹付工標準図 S=1:50



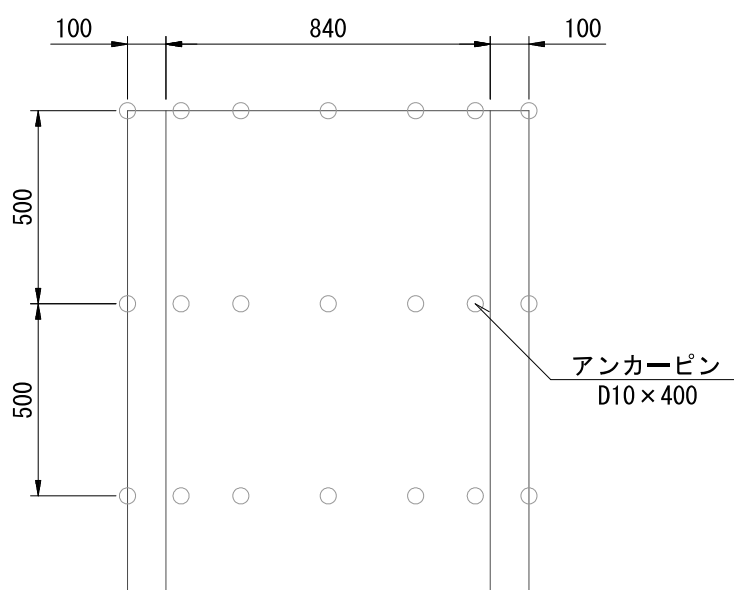
100㎡当り

名称	種別	単位	数量	摘 要
藻類資材		Kg	1.4	土壌藻類 (BSC)
肥料	高度化成肥料	Kg	10.0	標準 NPKMg =10 : 10 : 10 : 1~5
ファイバー		Kg	6.0	種子吹付用
粘着剤		Kg	3.2	種子吹付用

断面図



平面図



緑化水路工 材料表

10m当たり

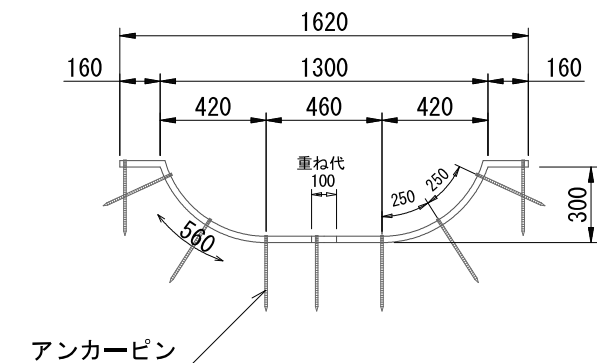
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
厚層植生マット M1300	幅1.3m × 長さ3.0m 種子無し	m	10.5	ロス率 1.05
アンカーピン	D10×400mm	本	147	

図面名	緑化水路工 標準図		
図面番号	5	縮尺	1:20

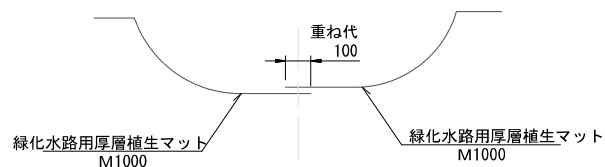
緑化水路工受口 標準図

縮尺 S=1/30

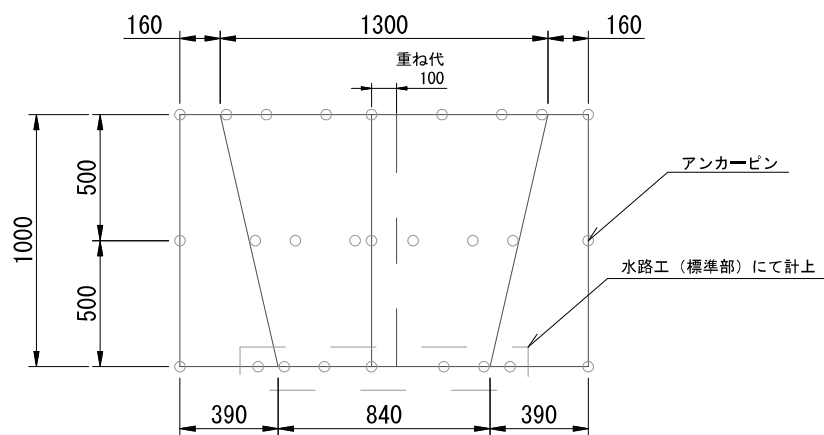
断面図



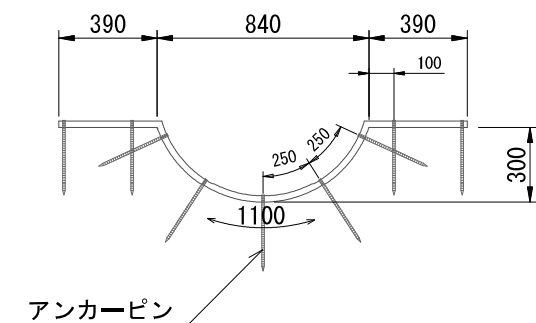
割付図



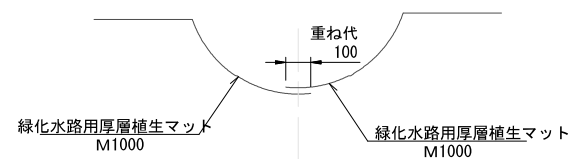
平面図



断面図



割付図



緑化水路工受口 材料表

1箇所当たり

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
緑化水路用厚層植生マット M1000	幅1.0m × 長さ4.0m 種子無し	m	2.1	ロス率 1.05
アンカーピン	D10×400mm	本	20	

注) : 上記断面はグリーンリ्यू-AM1000を2列配置し、形成する断面となります。

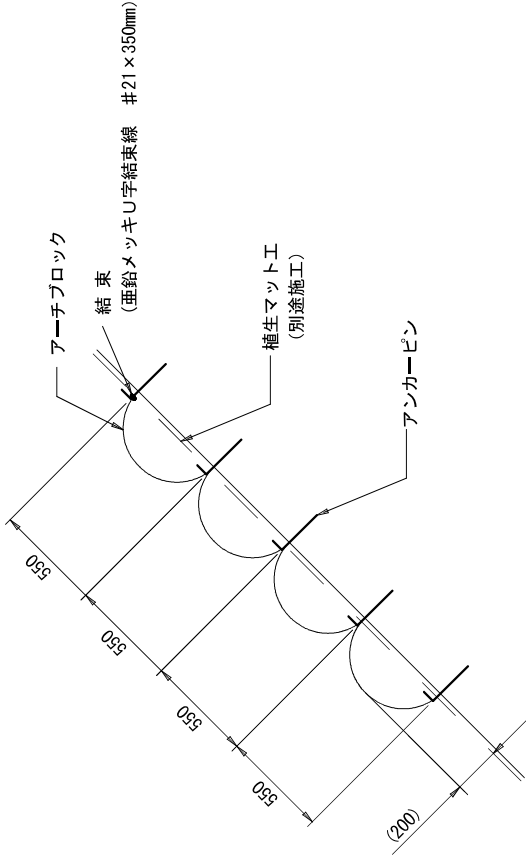
図面名	緑化水路工受口 標準図		
図面番号	6	縮尺	1:30

0 5 10

獣害防護工（アーチ状）標準図

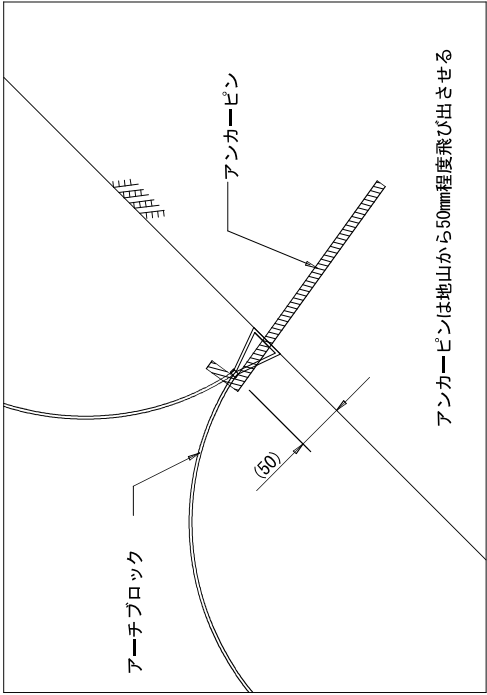
断面図

S=1:40



注1)：アーチの高さH=200mmは参考値であり、地山状況によって変化します。

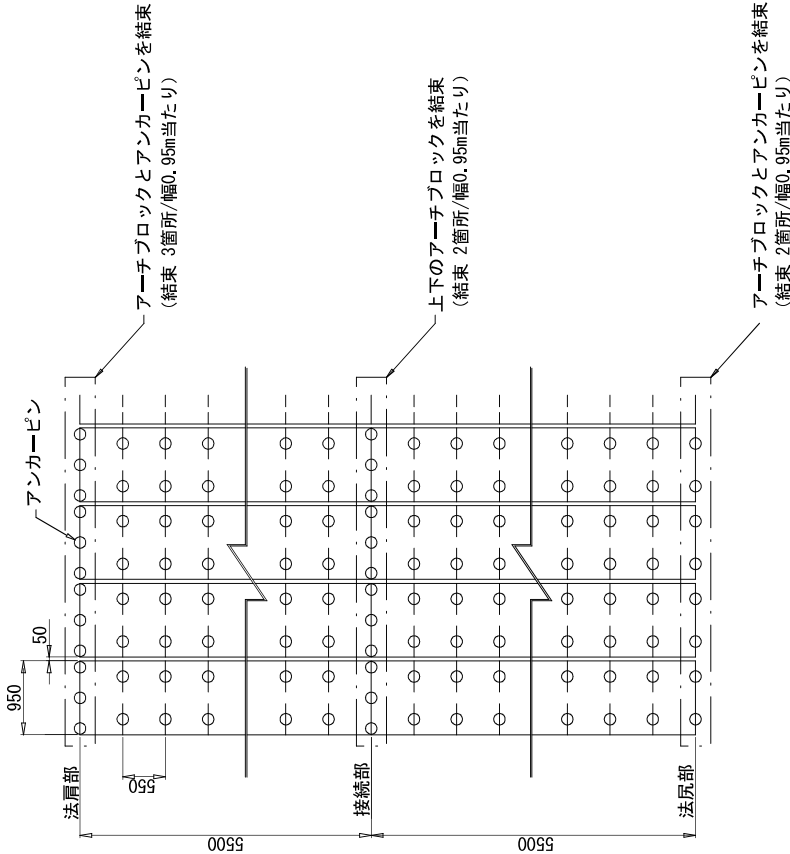
アンカー打設詳細図



アンカーピンは地山から50mm程度飛び出させる

アンカー打設図

S=1:100



(施工上の留意点)

- ・アンカーピンの仕様は土質状況に応じて、適宜変更して下さい。
- ・アーチブロック接縫部(上下方向)は、法肩部の打設方法を参考に適宜固定具の増し打ちを行って下さい。
- ・隣接部材との隙間は50mmを標準とし、規格値は+50mmで施工を行って下さい。

注2)：上図はアンカーピン等の打設本数を算出するための模式図です。

法面の凹凸や地質の状況に応じて、打設ピッチは変わることがあります。

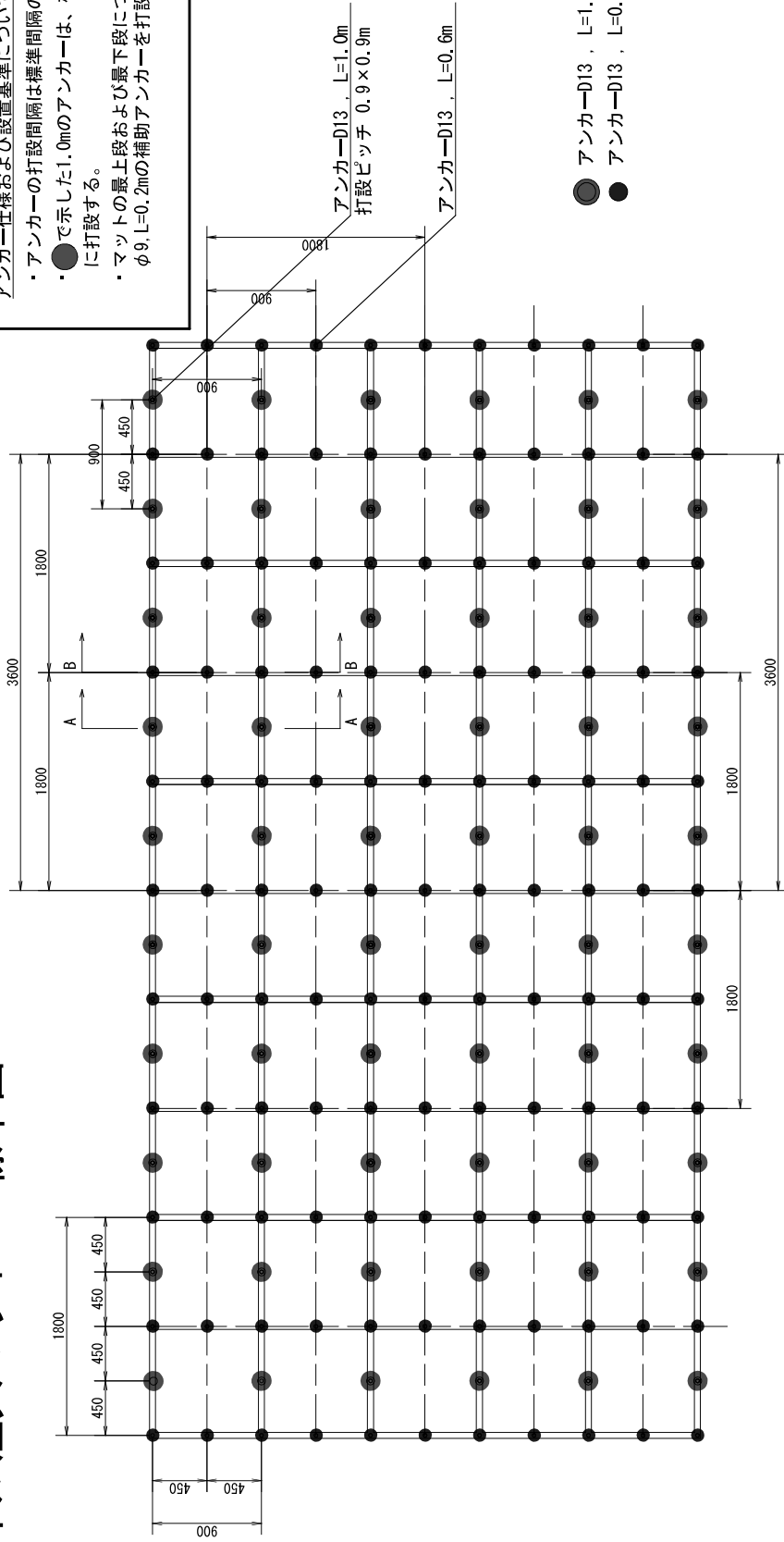
アーチブロック材料表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
アーチブロック	幅0.95m×長さ5.5m	m	111	ロス率1.1を含む
アンカーピン	D10×250mm	本	402	

- ・アーチブロックは50mm間隔で設置するため、材料数量は100.5m×ロス率1.1=110.55≒111mになります。
- ・材料ロス率は現場状況に応じて、適宜変更をお願いします。

ソイル注入マット工 標準図

平面図 S=1:40



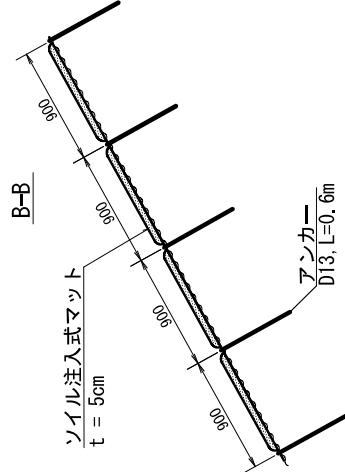
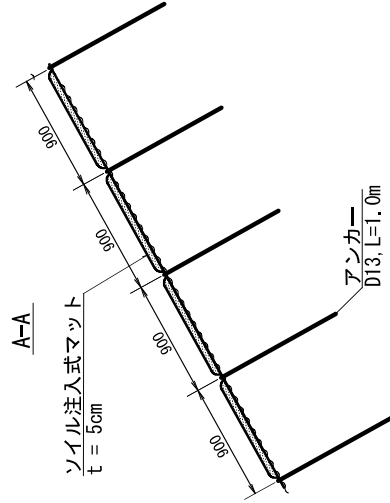
特記事項

アンカー仕様および設置基準について

- ・アンカーの打設間隔は標準間隔の0.45mとする
- ・で示した1.0mのアンカーは、横帯の中心から左右0.45mの位置に打設する。
- ・マットの最上段および最下段については、のアンカー-中間部にφ9、L=0.2mの補助アンカーを打設すること

- アンカー-D13，L=1.0m
- アンカー-D13，L=0.6m

標準断面図 S=1:40



使用材料数量表

単位	植生基礎厚 (cm)	備 考
	5	
フォレストエコマット	140	ロス含
アンカー	136	D13, L=1000×50
アンカー	219	D13, L=600×50
植生基礎材 プラツワイル	6.75	ロス含 (マット敷設後に注入充填する)
緩効性肥料 700日タイプ	13.5	ロス含 (マット敷設後に注入充填する)
高度化成肥料 15-15-15	13.5	ロス含 (マット敷設後に注入充填する)
クリコートC402	1.35	ロス含 (マット敷設後に注入充填する)

材料規格 長繊維PVA系：白色
短繊維メン系：白色
形 状 2種類の糸で編まれた、袋状マット
ソイル注入後の厚さ5cm